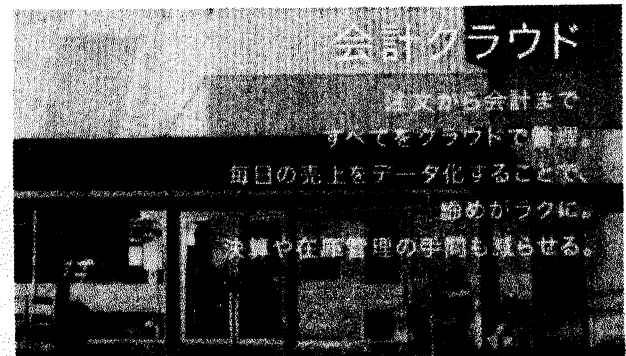
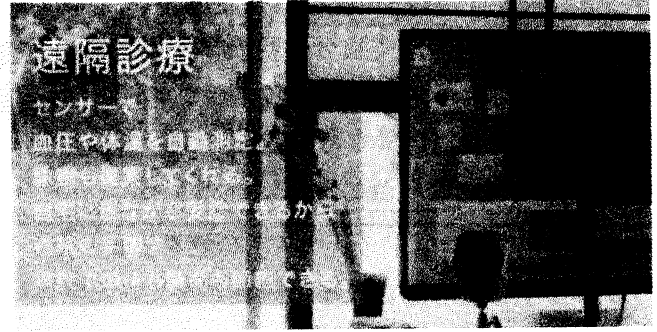
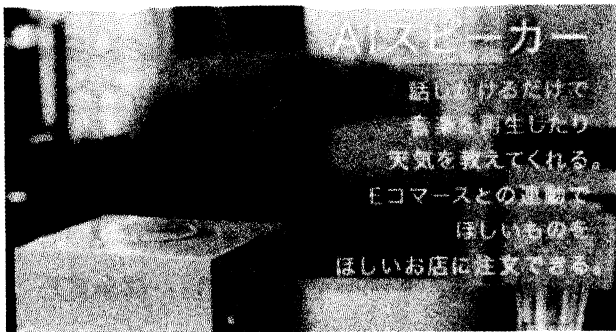




2011年の東日本大震災以降、「未曾有」や「想定外」といった言葉をよく耳にするようになりました。そして、地球規模で感染が広がっている新型コロナウイルス。ロシアによるウクライナ軍事侵攻。・・・このようなことから、今の時代や未来に対して「先行き不透明」ということばがつくようになりました。

しかし、Society5.0 が目指す社会からも分かるように、決して悲観するものではありません。ワクワクするような未来が待っているでしょうし、また、そういう未来を創造していかなければなりません。

夏休み明けのスタートにあたり、未来を創造するという新たな気持ちで学んで欲しいという願いから話をしました。

「鳥は飛ばねばならぬ」

坂村 真民

鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ

怒濤の海を

飛びゆく鳥のように

混沌の世を生きねばならぬ

鳥は本能的に

暗黒を突破すれば

光明の島に着くことを知っている

そのように人も

一寸先は闇ではなく

光であることを知らねばならぬ

新しい年を迎えた日の朝

わたしに与えられた命題

鳥は飛ばねばならぬ

人は生きねばならぬ

※「念ずれば花ひらく」の詩人